



大阪取引所・東京商品取引所データ提供
(デリバティブ商品情報ファイル伝送サービス)

ギブアップ明細ファイル仕様書

version 2.6

適用開始日：2023 年 11 月 6 日

株式会社 JPX 総研

目次

1. 目的	1
2. 提供情報の概要	1
2. 1. 内容	1
2. 2. 提供サイクル・提供時間	1
2. 3. 提供回線・提供プロトコル	1
3. ファイル仕様	2
4. 提供内容	2
4. 1. 提供レコード	2
4. 2. データ項目	3
5. 本仕様書に関するお問合せ	7
6. 改版履歴	8

1. 目的

本仕様書は、JPX 総研による情報提供サービスにおいて「ギブアップ明細ファイル」をご利用する際に必要な事項を取りまとめたものです。

ユーザーシステムと、本サービスを提供する情報配信システムとの接続については、「JPX 総研情報配信システム接続仕様書」をご参照ください。

2. 提供情報の概要

2.1. 内容

大阪取引所における先物取引及びオプション取引並びに東京商品取引所における先物取引の日々のギブアップ明細情報を提供します。

2.2. 提供サイクル・提供時間

毎営業日の 22:00 にファイル提供を行います。

(提供時間帯は個別に調整し取り決め事項としてご連絡いたします)

2.3. 提供回線・提供プロトコル

当ファイルの提供回線・提供プロトコルは下表の通りです。

	全銀 TCP/IP	FTP	SFTP
インターネット		×	○
arrownet	○	○	

○ 提供可能 × 提供不可能

3. ファイル仕様

- 文字コード

ShiftJIS となります。

- レコードサイズ

240 バイト

- 項目長

ファイルの各項目は固定長です。

4. 提供内容

4. 1. 提供レコード

日々のギブアップ明細情報を提供します。

4.2. データ項目

(1) 銘柄レコード

項番	項目名	バイト数	種別	内容
1	レコード区分	1	C	レコード区分を設定する。 "2" 固定
2	ファイル識別	3	C	ファイル識別を設定する。 "015" 固定
3	商品取引識別	2	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
4	ポスト区分	3	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
5	種類コード	2	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
6	取引日	8	C	取引日を YYYYMMDD の形式で設定する。 年 (YYYY) は西暦 4 桁。月 (MM) ・日 (DD) が 1 桁の場合は、先頭に ZERO を設定する。 例: 2005 年 05 月 09 日 → "20050509"
7	取引参加者コード	5	C	取引参加者コードを設定する。
8	清算参加者コード	5	C	取引日時点の清算参加者コードを設定する。
9	取引所コード	3	C	取引所コードを設定する。 "OSE" : 大阪取引所 "TCM" : 東京商品取引所
10	商品グループ群コード	3	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
11	商品グループコード	6	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
12	商品コード	10	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
13	プロダクトタイプコード	3	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照

項番	項目名	桁数	種別	内容
14	限月（回記号コード）	8	C	<p>(1) (西暦) 4 桁+限月（2 桁）+00（2 桁）を設定する。</p> <p>(2) 日経 225 ミニオプションについては、(西暦) 4 桁+以下の仕様の 2 桁）+00（2 桁）を設定する。</p> <p>3, 4 桁目については、各年の第一金曜日の前営業日を取引最終日とする限月取引を「01」とし、以後、1 ずつ加算する値とする。</p> <p>2024 年 1 月第 1 週の場合 →「20240100」 2024 年 1 月第 2 週の場合 →「20240200」※ 2024 年 1 月第 3 週の場合 →「20240300」 2024 年 1 月第 4 週の場合 →「20240400」 2024 年 2 月第 1 週の場合 →「20240500」 2024 年 2 月第 2 週の場合 →「20240600」※</p> <p>(※取引開始順ではなく、満期の早い順に限月が 1 ずつ加算される。)</p> <p>(3) フレックス先物銘柄及びフレックスオプション銘柄の場合、 (西暦) 4 桁+限日となる日付（4 桁）限日を設定する。</p> <p>(4) 商品先物の限日取引については、20791200 を設定する。</p>
15	予備コード	1	C	スペース固定。
16	商品タイプ	3	C	<p>商品タイプを設定する。</p> <p>“PUT”：プット “CAL”：コール “OTH”：その他</p>
17	権利行使価格	18	C	<p>権利行使価格を設定する。</p> <p>(前 ZERO、右詰、整数部 12 桁、小数部 6 桁)</p> <p>オプション銘柄の場合、権利行使価格を設定する。</p> <p>オプション銘柄以外の場合は、オールゼロを設定する。</p> <p>【単位】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOPIX オプション、JPX 日経インデックス 400 オプションの場合：ポイント ・上記以外の場合：円
18	銘柄コード	9	C	<p>各銘柄の銘柄コード 9 桁を左詰めにて設定する。</p> <p>9 桁に満たない場合は、スペースを設定する。</p>
19	部区分	10	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照

項番	項目名	バイト数	種別	内容
20	所属商品	10	C	(※) 別紙の「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」参照
21	市場区分	3	C	市場区分を設定する。 “OSE”：大阪取引所 “TCM”：東京商品取引所
22	取引手法	3	C	取引手法を設定する。 “ACD”：立会取引(デリバティブ) “OFF”：J-NET 取引(デリバティブ)または TOCOM における立会外取引
23	約定日付	8	C	約定成立日付を YYYYMMDD の形式で設定する。 (非営業日を含む)
24	約定時刻	6	C	約定成立時刻を HHMMSS の形式で設定する。 時(HH)・分(MM)・秒(SS)が1桁の場合は、先頭に0を設定する。 9時50分30秒の場合、“095030”を設定する。 また、0時0分0秒の場合、“000000”を設定する。
25	サインフラグ	1	C	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。
26	約定値段	18	C	約定値段を設定する。 (前 ZERO、右詰、整数部12桁、小数部6桁)
27	サインフラグ	1	C	次項目が負数の場合“-”、正数の場合“+”、ゼロの場合空白を設定する。
28	約定数量	18	C	当該売買契約の数量を設定する。 (前 ZERO、右詰) 一部のみテイクアップが成立した場合、成立した数量のみ設定する。
29	自己委託区分	3	C	自己委託区分を設定する。 “SEL”：自己取引 “CON”：委託取引
30	売買区分	3	C	売買区分を設定する。 “SEL”：売りレコード “BUY”：買いレコード
31	約定通知番号	18	C	約定通知番号を設定する。 (前 ZERO、右詰)
32	枝番	3	C	枝番を設定する。 (前 ZERO、右詰) “001”：新規約定、約定訂正 “スペース”：上記以外(参加者の申告により取引所にて約定追加した場合等)

項番	項目名	バイト数	種別	内容
33	G/T 区分	3	C	<p>G/T 区分を設定する。</p> <p>“007”：ギブアップ約定</p> <p>“008”：ギブアップ約定取消</p> <p>“009”：テイクアップ約定</p> <p>“010”：テイクアップ約定取消</p> <p>ギブアップ取消・テイクアップ取消がされた場合、ギブアップ参加者側には「“008”：ギブアップ約定取消」を、テイクアップ参加者側には「“010”：テイクアップ約定取消」を設定する。</p>
34	相手方参加者コード	5	C	相手方参加者コードを設定する。
35	G/T 成立日	8	C	<p>ギブアップ/テイクアップ成立日付を YYYYMMDD の形式で設定する。</p> <p>※テイクアップ申告操作によるテイクアップ成立時の日付を設定する。</p> <p>（ギブアップ取消・テイクアップ取消がされた場合もテイクアップ成立時の日付を設定する。）</p> <p>本項については非営業日も設定する。</p>
36	G/T 成立時刻	6	C	<p>ギブアップ/テイクアップ成立時刻を HHMMSS の形式で設定する。（24 時間表記）</p> <p>※テイクアップ申告操作によるテイクアップ成立時の時刻を設定する。</p> <p>（ギブアップ取消・テイクアップ取消がされた場合もテイクアップ成立時の時刻を設定する。）</p> <p>9 時 50 分 30 秒の場合、“095030” を設定する。</p> <p>また、0 時 0 分 0 秒の場合、“000000” を設定する。</p>
37	顧客確認番号	20	C	<p>顧客確認番号を設定する。</p> <p>設定可能な文字については、以下のとおり。</p> <p>【半角スペース】【半角数字】</p> <p>【半角英大文字】【半角英小文字】</p> <p>【半角記号】</p>

5. 本仕様書に関するお問合せ

(株)JPX 総研 クライアントサービス部

電話:050-3377-7831

E-mail : tminfo@jpx.co.jp

6. 改版履歴

日付	バージョン	内容
2014 年 2 月 5 日	1.00	初版
2014 年 6 月 30 日	1.01	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載内容の改善 ・ 項番 17 「権利行使価格」に以下の内容を追記 オプション銘柄の場合、権利行使価格を設定する。 オプション銘柄以外の場合は、オールゼロを設定する。 ・ 項番 32 「枝番」に以下の内容を追記 通常時は「001」を設定する。過誤訂正に係るギブアップ・テイクアップの場合はスペースを設定する。 ・ 項番 33 「G/T区分」に以下内容を追記 ギブアップ取消・テイクアップ取消がされた場合、ギブアップ参加者側には「008」：ギブアップ約定取消」を、 テイクアップ参加者側には「010」：テイクアップ約定取消」を設定する。 ・ 項番 35 「G/T成立日」に以下内容を追記 ※テイクアップ申告操作によるテイクアップ成立時の日付を設定する。 (ギブアップ取消・テイクアップ取消がされた場合もテイクアップ成立時の日付を設定する。) ・ 項番 36 「G/T成立時刻」に以下の内容を追記 ※テイクアップ申告操作によるテイクアップ成立時の時刻を設定する。 (ギブアップ取消・テイクアップ取消がされた場合もテイクアップ成立時の時刻を設定する。) ・ 別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」 以下の種類コードを変更 CNX Nifty 先物 変更前：“FM”、変更後：“FG” 日経平均・配当指数先物 変更前：“FG”、変更後：“FM” 廃止商品「日経 300 先物」を削除 新規商品「JPX 日経インデックス 400 先物」を追加

日付	バージョン	内容
2015 年 5 月 25 日	1.02	別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」 新規商品「日経 225Weekly オプション」を追加
2015 年 5 月 25 日	1.03	<p>・ 項番 14「限月」 項目名を「限月」から「限月（回記号コード）」に変更 変更前： 限月を（年月日形式）[限月コード（西暦）YYYYMM]+[00（2桁）]にてセット。 変更後： 限月（限月コード（西暦）4桁＋限月※（2桁）＋00（2桁））を設定する。 ※日経平均株価を対象とした～（略）</p> <p>・ 項番 17「権利行使価格」 変更前： 【単位】 ・ 有価証券オプション：円 ・ 国債先物オプションの場合：円（銭の位は小数部で表記） ・ 上記以外（指数オプション）の場合：ポイント 変更後： 【単位】 ・ TOPIX オプションの場合：ポイント ・ 上記以外の場合：円</p>

日付	バージョン	内容
2016 年 7 月 19 日	1.04	<p>・ 項番 32「枝番」</p> <p>変更前： 通常時は‘001’を設定する。 過誤訂正に係るギブアップ・テイクアップの場合はスペースを設定する。</p> <p>変更後： “001”：新規約定、約定訂正 “スペース”：上記以外（参加者の申告により取引所にて約定追加した場合等）</p> <p>・ 別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」 以下の商品分類を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> - 東証マザーズ指数先物 - JPX 日経インデックス 400 オプション - 加権指数先物 - FTSE 中国 50 先物 <p>以下の商品分類の名称を変更 変更前：CNX Nifty 先物 変更後：インド Nifty50 先物</p> <p>・ システムコード値（半角表示）が、全角表示で記載されているものを半角表示に修正</p> <p>・ ドキュメント間で記載の平仄を合わせるために一部表記を修正</p>

2017 年 11 月 10 日 公表 (2018 年デリバティブ清算刷新PJ稼働(本番稼働予定日:2018 年 2 月 13 日)適用予定)	1. 05 (暫定版)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4. 1. 提供レコード においてフレックスオプション銘柄は収録対象外である旨を追記 ・ 項番 14「限月(回記号コード)」 において週次設定限月取引の場合の誤記を修正 変更前: 2015 年 1 月第 2 週の場合 →「20154100」 変更後: 2015 年 1 月第 3 週の場合 →「20154100」 ・ 項番 17「権利行使価格」 において JPX 日経インデックス 400 オプションの場合の単位を追記
	1. 06 (確定版)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項番 37「顧客確認番号」 において、半角特殊文字を半角記号に修正
2019 年 10 月 31 日 公表 (OSE 新商品情報配信対応(本番稼働予定日:2020 年 7 月 27 日)適用予定)	2. 0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品追加に伴い、別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」を更新。 ・ 4. 2. データ項目(1)銘柄レコード 項番 14 「限月(回記号コード)」において、限日取引についての記載を追加。
2020 年 8 月 17 日	2. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4. 1. 提供レコード TOPIX 配当指数先物等の取引休止対応について、記載を追加。

<p>2020 年 12 月 30 日 公表 (J-GATE3.0 対応 及び TOCOM 商品追 加対応 (本番稼働 予定日 : 2021 年 9 月 21 日) 適用予定</p>	<p>2.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.1. 内容 東京商品取引所における先物取引が収録対象に含まれる旨を追記。 ・ 2.3. 提供回線・提供プロトコル ISDN 回線、全銀ベーシックを削除。 ・ 3. ファイル仕様 ●文字コード 選択可能な文字コードから EBCDIK を削除。 ・ 4.1. 提供レコード TOPIX 配当指数先物等の取引休止対応についての記載及びフレックスオプション銘柄が収録対象外である旨を削除。 ・ 4.2. データ項目 (1)銘柄レコード 項番 9. 取引所コード 「"TCM" : 東京商品取引所」を追記 項番 14. 限月 (回記号コード) 「フレックス銘柄の場合、限日を設定する。」を追記 項番 21. 市場区分 「"TCM" : 東京商品取引所」を追記 ・ 新商品追加等に伴い、別紙「商品取引識別、識別コード、種類コード一覧」を更新。
<p>2022 年 2 月 7 日公 表 (LNG 先物追加 : 2022 年 4 月 4 日適 用予定)</p>	<p>2.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙 「大阪取引所データ提供」を「大阪取引所・東京商品取引所データ提供」に変更 ・ 4.2. データ項目 (1)銘柄レコード 項番 22. 取引手法 内容を修正 ・ 別紙_商品取引識別、識別コード、種類コード一覧 商品分類に LNG 先物を追加

2022 年 4 月 4 日 (JPX 総研対応)	2.4	<p>1. 目的 東京証券取引所の記載を JPX 総研に変更</p> <p>5. 本仕様書に関するお問合せ (株)JPX 総研 クライアントサービス部に変更</p>
2023 年 5 月 29 日適用 (OSE 商品追加対応)	2.5	<p>4. 2. データ項目 (1) 銘柄レコード 14. 限月 (回記号コード) について、日経 225 ミニ OP に関する説明に修正。</p> <p>・ 別紙_商品取引識別、識別コード、種類コード一覧 商品分類 以下商品を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日経 225 マイクロ先物 ・ S&P/JPX 500 ESG スコア・ティルト指数先物 ・ FTSE JPX ネットゼロ・ジャパン 500 指数先物 ・ 日経平均気候変動 1.5°C 目標指数先物 ・ 日経 225 ミニオプション ・ TONA3 か月金利先物 <p>商品分類から「日経 225Weekly オプション」を削除</p>
2023 年 11 月 6 日適用 (マザーズ指数先物名称変更)	2.6	<p>・ 別紙_商品取引識別、識別コード、種類コード一覧 項番 5 商品分類 東証マザーズ指数先物を「東証グロース市場 250 指数先物」に変更。</p>

以上